

福田一志さんとの思い出

田 中 淳 也

突然の訃報があったのは平成20年10月19日でした。前日に福田一志さんが、心臓発作のため亡くなられたとの連絡でした。驚きで対馬市文化財課の職員は言葉を失いました。

何故そんなことになったのか……。

対馬市が合併した平成16年3月以降来崎する機会は徐々に減り、学芸文化課へ訪れる機会も少なくなりました。福田さんをはじめ、学芸文化課のみなさんとお会いする機会も同様に減りました。互いの近況報告等話をする機会も徐々に減り、以前のような（密接な）人間関係が薄らいでいく……と感じていました。市町村合併と歩調を併せるかのように長崎県も機構改革を進め体制を縮小していきました。そのため学芸文化課（職員）の仕事量は確実に増えていったことは、私も感じていました。時折電話で話す福田さんの声は疲れていましたが、毎回のように「対馬のエビが食べたい。早く送ってくれんね」と言われ、困らされて（？）いました。大学の先輩でもある福田さんは学芸文化課で最もユーモアがあり、誰からも好かれていました。以前、私が長崎の仕事が思うようにいかなかった時、浮かない表情の私を察してか食事に誘ってくれました。お酒の苦手な私でしたが、「仕事が終わったら飯でも食べに行こうか」と出張の度に誘ってくださいました。

8年ほど前、出張で立山分室へ行き、福田さんと一緒に調査した「水崎遺跡」の整理作業をしていたときに、自宅（長与町）へ招待していただきました。二人のお子さんはまだ小学生ぐらいだったと記憶しています。みなさんと食事をご一緒に楽しい一時を過ごしました。本当に面倒見の良い先輩で、やさしい人でした。

水崎遺跡の調査は、11月の季節風が吹く時期に始まりました。調査の後半は寒く、冷たい北西風が吹く日が続きましたが、福田さんは決まって昼休みに釣りをしていました。昔からされていたそうで、仕掛けも自分で手際よく作り魚を釣っていました。

水崎遺跡の調査後は対馬へ来る機会も減りましたが、史跡担当になった平成18年度には各整備委員会（3回）に出席していただきました。全て日帰りだったため、金田城の整備について、現地を案内し指導を仰ぎたかったのですが、叶いませんでした。仕事が忙しく、（学芸文化課を）2日間空けることは難しかったようです。

福田さんと最後に仕事をしたのは平成19年11月に福岡市で開催された「全国遺跡環境会議」でした。2日間の日程で会議及び現地視察（大野城、水城など）をご一緒しました。全て隣りの席だったので、久しぶりに会話ができ、とても有意義な時間でした。

福田さんが亡くなって早3年が過ぎようとしています。心残りを言えば際限はありませんが、もっと長生きをして指導を仰ぎたかったです。お墓は古里五島ではなく、自宅のある長与町に建てたと聞いています。機会を作り、お墓参りに行きたいと考えています。

3回忌にあたり、改めて福田さんのご冥福をお祈りいたします。